

# 田畑売買価格等に関する調査結果

— 令和5年度 —

令和6年3月

一般社団法人秋田県農業会議



# は し が き

担い手の減少・高齢化や営農に欠かすことのできない生産資材価格の高騰、気候変動の影響による高温・異常降雨など、農業を取り巻く環境が厳しさを増しています。

こうした中、農業委員会組織では、農地の売買価格の全国的な動向を把握し、農地政策・構造政策の基礎資料とすることを目的に、田畑売買価格等に関する調査を昭和31年から毎年実施しています。

本調査結果は、県内の市町村農業委員会のご協力により、令和5年5月1日時点の田畑売買価格を調査し、令和5年度の結果として取りまとめたものです。

農地業務に携わる関係者の皆様に、担い手の育成・確保や農地利用の最適化の推進活動の場で有効活用していただければ幸いです。

最後に、調査の実施にあたり、多大なご協力をいただいた市町村農業委員会の皆様へ深く感謝するとともに、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 3 月

一般社団法人秋田県農業会議

# 目 次

I. 調査の目的・方法等	・・・	1
II. 調査結果		
1. 概要	・・・	2
2. 耕作目的の自作地売買価格の動向	・・・	2
3. 農用地区域内の自作地売買価格の動向	・・・	8
4. 転用目的の自作地売買価格の動向	・・・	12

# I. 調査の目的・方法等

## 1. 目的と方法

本調査は、全国の田畑売買価格等の動向を把握し、農業政策推進の基礎資料に資することを目的に実施しており、市町村農業委員会にご協力いただき（一社）全国農業会議所が作成した調査票に基づき調査を実施した。

## 2. 調査地区

昭和 25 年 1 月 1 日当時の旧市町村を調査地区とし、県内の 239 地区を対象に調査した。

## 3. 調査対象農地

調査地区内の田畑のうち中田（ちゅうでん）と中畑（ちゅうばた）を対象とした。（中田・中畑とは、収量水準や生産条件の標準的な田・畑）

## 4. 調査対象農地の区分

都市計画法と農業振興地域の整備に関する法律（以下、農振法）により、次のように区分している。

都市計画法による区分		農振法による区分	
都市計画法の線引きが行われていない市町村 (秋田市、潟上市以外の 23 市町村(213 地区))		農用地区域	} 純農業地域
		農用地区域外	
都市計画法の線引きが行われている市町村 (秋田市、潟上市(26 地区))	市街化調整区域	農用地区域	} 都市農業地域
	その他の地域		
	市街化調整区域	農用地区域外	
	その他の地域		
	市街化区域	—	

## 5. 調査時点

令和 5 年 5 月 1 日

## 6. 調査項目

- (1) 耕作目的の中田・中畑売買価格
- (2) 農用地区域内の中田・中畑価格の上昇・横ばい・下降の傾向と理由
- (3) 使用目的変更（転用）の田畑売買価格
- (4) 樹園地の売買価格（参考）

## 7. 売買価格

耕作目的の売買価格は、調査時点で売り手・買い手の双方が妥当とみて実際に取引されるであろう価格とし、直近の売買実例価格だけでなく、過去のすう勢や地域の農地事情に精通した方の意見等を参考に決定している。また、使用目的変更（転用）の売買価格は、調査時点（令和 5 年 5 月 1 日）を含む過去 1 年間の売買実例価格を参考に決定している。

## Ⅱ. 調査結果

### 1. 概要

#### (1) 中田

農用地区域内の中田平均価格は 37 年連続で下降している。純農業地域<sup>※1</sup>では、令和 4 年の 382 千円に対し、令和 5 年は 374 千円（対前年比 97.8%）となった。都市農業地域<sup>※2</sup>では、令和 4 年の 373 千円に対し、令和 5 年は 358 千円（対前年比 95.9%）となった。

#### (2) 中畑

農用地区域内の中畑平均価格は、純農業地域では令和 4 年の 168 千円に対し、令和 5 年は 164 千円（対前年比 97.6%）となった。都市農業地域は、令和 4 年の 371 千円に対し、令和 5 年は 374 千円（対前年比 100.9%）となった。

#### (3) 結果

純農業地域の農用地区域内の中田価格は、昭和 61 年の 1,477 千円をピークに 37 年連続して下降している。10 年前（平成 25 年）と比較すると 206 千円（35.5%）の下落となった。

また、売買価格の動向<sup>※3</sup>について、中田・中畑の横ばいや下落の理由として、「農地の買手が少ない、買い控え」、「米価などの農産物価格が低い」、「農業の後継者不足」という回答が多数を占めた。

※1 純農業地域：都市計画法の線引きが行われていない 23 市町村

※2 都市農業地域：都市計画法の線引きが行われている 2 市（秋田市、潟上市）

※3 売買価格の動向：「上昇」…3%超の価格の上昇、「横ばい」…3%以内の価格の上昇・下落、「下降」…3%超の価格の下落

②：由利地域の令和 4 年データの訂正に伴い、関連する数値の修正を行っている。

### 2. 耕作目的の自作地売買価格の動向

#### (1) 純農業地域の自作地売買価格【表—1、参考—1】

##### ①農用地区域内

中田の平均売買価格は 374 千円で対前年比 97.8%、中畑の売買価格は 164 千円で対前年比 97.6%となった。

##### ②農用地区域以外の区域

中田の平均売買価格は 352 千円で対前年比 96.0%、中畑の売買価格は 184 千円で対前年比 97.2%となった。

表－1 純農業地域の地域別自作地売買価格

(単位：千円/10a)

地 域	中 田						中 畑					
	農用地区域内			農用地区域以外の区域			農用地区域内			農用地区域以外の区域		
	4年	5年	対前年比	4年	5年	対前年比	4年	5年	対前年比	4年	5年	対前年比
鹿 角	238	224	94.1%	362	324	89.5%	107	101	94.4%	169	153	90.5%
北秋田	370	370	100.0%	305	305	100.0%	125	125	100.0%	140	140	100.0%
山 本	342	338	98.8%	268	260	97.0%	112	111	99.1%	87	86	98.9%
秋 田	496	490	98.8%	375	375	100.0%	225	225	100.0%	272	272	100.0%
由 利	581	576	99.1%	570	570	100.0%	258	254	98.4%	248	248	100.0%
仙 北	323	314	97.2%	377	367	97.3%	161	158	98.1%	215	212	98.6%
平 鹿	375	356	94.9%	425	375	88.2%	206	191	92.7%	225	200	88.9%
雄 勝	330	321	97.3%	249	237	95.2%	145	146	100.7%	157	159	101.3%
平均	382	<b>374</b>	<b>97.8%</b>	366	<b>352</b>	<b>96.0%</b>	168	<b>164</b>	<b>97.6%</b>	189	<b>184</b>	<b>97.2%</b>

参考－1 農業地域類型別自作地売買価格

(単位：千円/10a)

農業地域 類型	中 田						中 畑					
	農用地区域内			農用地区域以外の区域			農用地区域内			農用地区域以外の区域		
	4年	5年	対前年比	4年	5年	対前年比	4年	5年	対前年比	4年	5年	対前年比
都市的地域	497	492	99.0%	701	694	99.0%	236	231	97.9%	440	434	98.6%
平地農業地域	382	367	96.1%	367	354	96.5%	194	189	97.4%	225	221	98.2%
中間農業地域	390	383	98.2%	361	356	98.6%	172	168	97.7%	164	162	98.8%
山間農業地域	293	289	98.6%	276	268	97.1%	117	116	99.1%	119	118	99.2%
平均	391	383	98.0%	426	418	98.1%	180	176	97.9%	237	234	98.6%

(2) 都市農業地域の自作地売買価格【表－2】

都市農業地域の中田・中畑における農地価格は、農用地区域内の中田及び農用地区域以外の区域の中畑で下落となり、それ以外の区域は横ばいとなった。

表－2 都市農業地域の自作地売買価格

(単位：千円/10a)

農業地域類型	中 田			中 畑		
	市街化調整区域		市街化 区 域	市街化調整区域		市街化 区 域
	農 用 地 区 域 内	農 用 地 区 域 以 外 の 区 域		農 用 地 区 域 内	農 用 地 区 域 以 外 の 区 域	
都市的地域	715	1,458	4,882	1,013	1,367	3,950
平地農業地域	321	387	270	175	398	260
中間農業地域	295	450	3,385	259	500	
山間農業地域	100			50		
平均(5年)	<b>358</b>	<b>765</b>	<b>2,846</b>	<b>374</b>	<b>755</b>	<b>2,105</b>
平均(4年)	373	782	2,823	371	783	2,090
対前年比	<b>95.9%</b>	<b>97.8%</b>	<b>100.8%</b>	<b>100.9%</b>	<b>96.4%</b>	<b>100.7%</b>

(3) 農用地区域内の中田売買価格の年次別推移【表－3、図－1】

令和5年の平均売買価格は、374千円と過去10年間で最も低く、10年前（平成25年）と比べ206千円（35.5%）下落している。

地域ごとに売買価格の年次別推移を見てみると、下落幅が最も大きい鹿角地域では295千円（56.8%）下落しており、最も小さい由利地域では134千円（18.9%）下落している。

表－3 農用地区域内中田売買価格の年次別推移

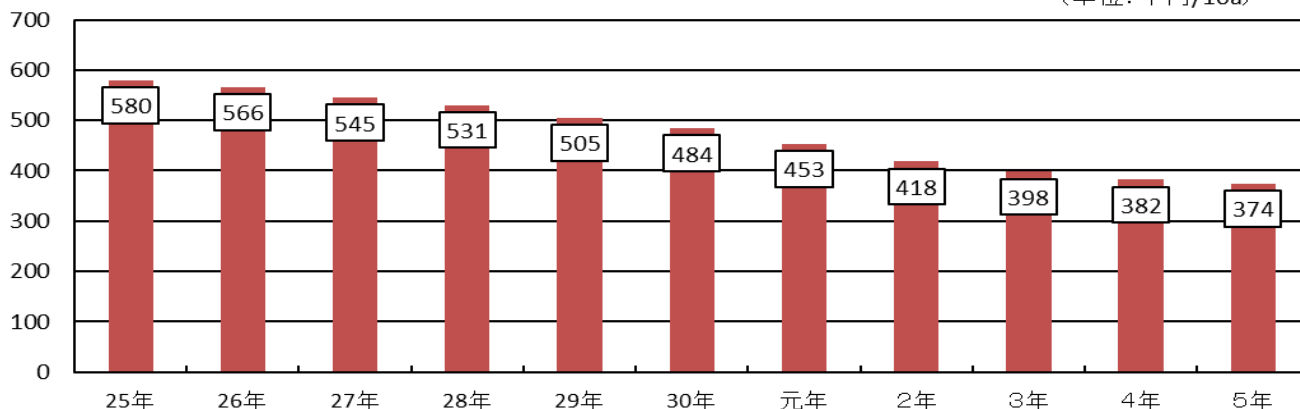
(単位：千円/10a)

区分	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	平均	
価格	25年	519	581	457	605	710	475	671	623	580
	26年	491	581	442	584	710	441	668	612	566
	27年	466	553	424	551	697	428	637	605	545
	28年	443	553	417	539	685	393	618	598	531
	29年	373	553	377	534	651	377	614	558	505
	30年	350	553	359	534	607	366	588	513	484
	元年	330	538	354	524	600	350	527	397	453
	2年	287	457	351	512	593	342	453	346	418
	3年	258	395	350	512	587	329	418	333	398
	4年	238	370	342	496	581	323	375	330	382
	5年	<b>224</b>	<b>370</b>	<b>338</b>	<b>490</b>	<b>576</b>	<b>314</b>	<b>356</b>	<b>321</b>	<b>374</b>
平成25年と比較	25年	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	26年	94.6%	100.0%	96.7%	96.5%	100.0%	92.8%	99.6%	98.2%	97.6%
	27年	89.8%	95.2%	92.8%	91.1%	98.2%	90.1%	94.9%	97.1%	94.0%
	28年	85.4%	95.2%	91.2%	89.1%	96.5%	82.7%	92.1%	96.0%	91.5%
	29年	71.9%	95.2%	82.5%	88.3%	91.7%	79.4%	91.5%	89.6%	87.1%
	30年	67.4%	95.2%	78.6%	88.3%	85.5%	77.1%	87.6%	82.3%	83.4%
	元年	63.6%	92.6%	77.5%	86.6%	84.5%	73.7%	78.5%	63.7%	78.1%
	2年	55.3%	78.7%	76.8%	84.6%	83.5%	72.0%	67.5%	55.5%	72.1%
	3年	49.7%	68.0%	76.6%	84.6%	82.7%	69.3%	62.3%	53.5%	68.6%
	4年	45.9%	63.7%	74.8%	82.0%	81.8%	68.0%	55.9%	53.0%	65.9%
	5年	<b>43.2%</b>	<b>63.7%</b>	<b>74.0%</b>	<b>81.0%</b>	<b>81.1%</b>	<b>66.1%</b>	<b>53.1%</b>	<b>51.5%</b>	<b>64.5%</b>

注) 都市計画法区域市町村を除く

図－1 中田売買価格の年次別推移

(単位：千円/10a)





(4) 農用地区域内の中畑売買価格の年次別推移【表－4、図－2】

令和5年の平均売買価格は、164千円と過去10年間で最も低く、10年前（平成25年）と比べ81千円（33.1%）下落している。

地域ごとに売買価格の年次別推移を見てみると、下落幅が最も大きい鹿角地域では139千円（57.9%）下落しており、最も小さい秋田地域では45千円（16.7%）下落している。

表－4 農用地区域内中畑売買価格の年次別推移

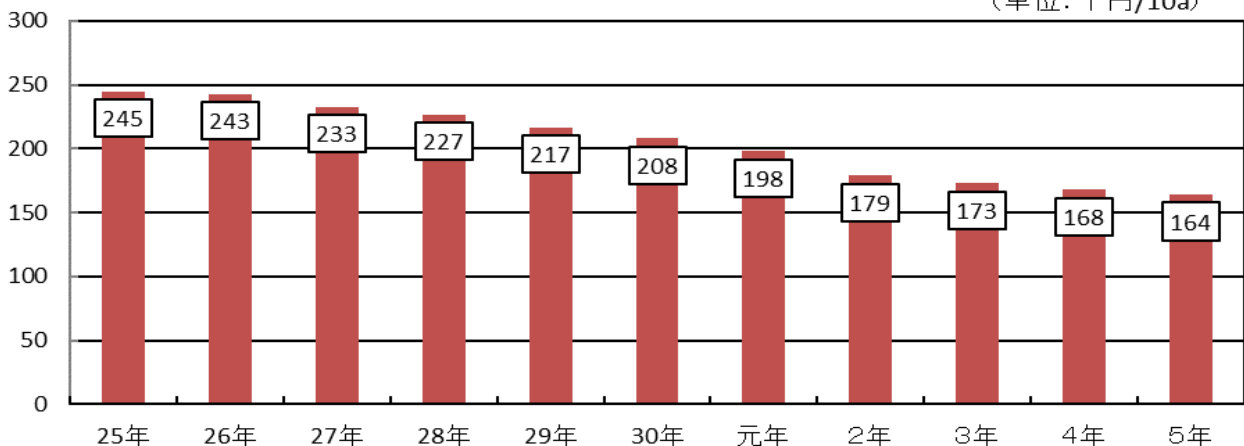
(単位：千円/10a)

区分	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	平均	
価格	25年	240	184	144	270	313	196	364	247	245
	26年	229	184	138	264	313	203	364	245	243
	27年	218	175	129	251	313	194	344	242	233
	28年	208	175	126	245	313	181	328	239	227
	29年	167	175	119	241	293	178	325	232	217
	30年	170	175	114	241	272	178	297	210	208
	元年	162	172	114	241	271	169	263	188	198
	2年	129	130	113	234	267	168	234	152	179
	3年	116	125	113	234	263	163	222	145	173
	4年	107	125	112	225	258	161	206	145	168
	5年	<b>101</b>	<b>125</b>	<b>111</b>	<b>225</b>	<b>254</b>	<b>158</b>	<b>191</b>	<b>146</b>	<b>164</b>
平成25年と比較	25年	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	26年	95.4%	100.0%	95.8%	97.8%	100.0%	103.6%	100.0%	99.2%	99.2%
	27年	90.8%	95.1%	89.6%	93.0%	100.0%	99.0%	94.5%	98.0%	95.1%
	28年	86.7%	95.1%	87.5%	90.7%	100.0%	92.3%	90.1%	96.8%	92.7%
	29年	69.6%	95.1%	82.6%	89.3%	93.6%	90.8%	89.3%	93.9%	88.6%
	30年	70.8%	95.1%	79.2%	89.3%	86.9%	90.8%	81.6%	85.0%	84.9%
	元年	67.5%	93.5%	79.2%	89.3%	86.6%	86.2%	72.3%	76.1%	80.8%
	2年	53.8%	70.7%	78.5%	86.7%	85.3%	85.7%	64.3%	61.5%	73.1%
	3年	48.3%	67.9%	78.5%	86.7%	84.0%	83.2%	61.0%	58.7%	70.6%
	4年	44.6%	67.9%	77.8%	83.3%	82.4%	82.1%	56.6%	58.7%	68.6%
	5年	<b>42.1%</b>	<b>67.9%</b>	<b>77.1%</b>	<b>83.3%</b>	<b>81.2%</b>	<b>80.6%</b>	<b>52.5%</b>	<b>59.1%</b>	<b>66.9%</b>

注) 都市計画法区域市町村を除く

図－2 中畑売買価格の年次別推移

(単位：千円/10a)



(5) 農用区域内の中田・中畑の売買価格水準

①中田【表－5、図－3（1）、図－3（2）】

売買価格別地点数を見ると、10年前（平成25年）は、40～60万円未満の価格帯が最も多かったが、現在は20～40万円未満の価格帯が最も多く全体の61.1%を占めている。

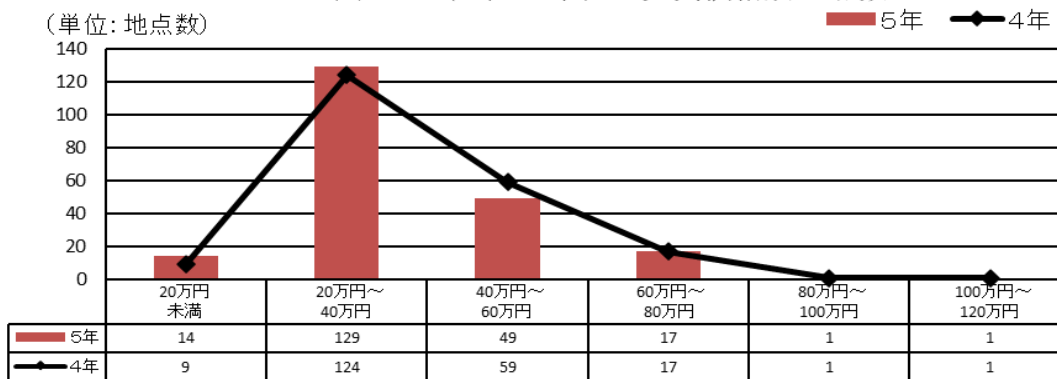
表－5 地域別中田売買価格の水準

(単位：地点数)

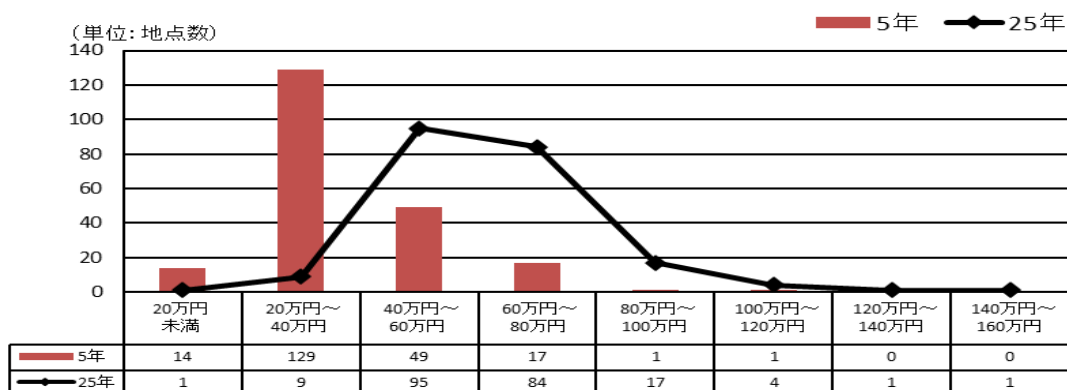
区分	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
									実数	構成比
20万円 未満	2	2	3			1	1	5	14	6.6%
20万円 ～ 40万円	9	26	15	12		34	17	16	129	61.1%
40万円 ～ 60万円		4	7	6	12	7	11	2	49	23.2%
60万円 ～ 80万円					17				17	8.1%
80万円 ～ 100万円								1	1	0.5%
100万円 ～ 120万円				1					1	0.5%
計	11	32	25	19	29	42	29	24	211	100.0%

注 都市計画法区域市町村を除く

図－3（1） 中田の売買価格別地点数



図－3（2） 中田の売買価格別地点数（10年前）



②中畑【表一6、図一4（1）、図一4（2）】

売買価格別地点数を見ると、10年前（平成25年）は20～30万円未満の価格帯が最も多かったが、現在は10～20万円未満の価格帯が最も多く全体の44.2%を占めている。

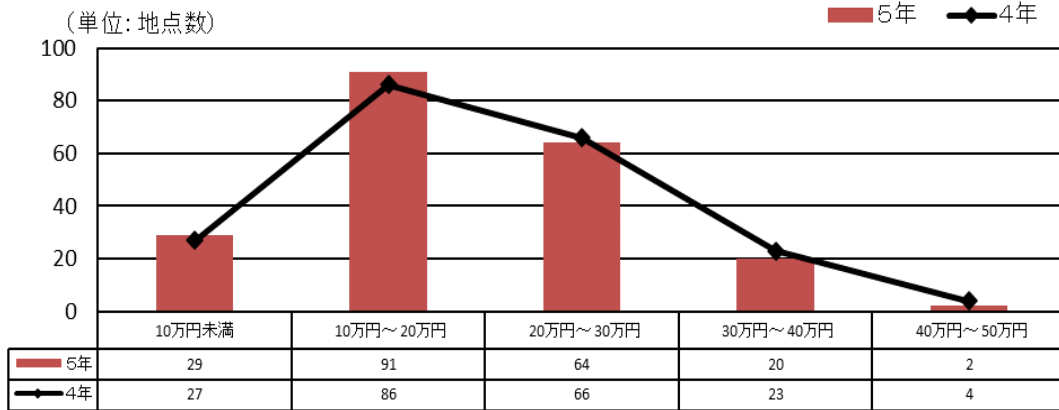
表一6 地域別中畑売買価格の水準

(単位: 地点数)

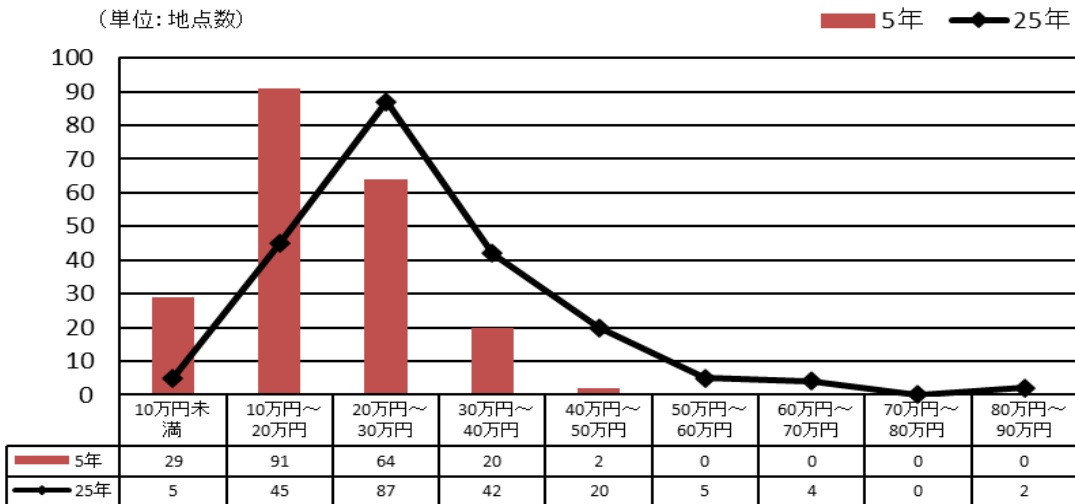
区分	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
									実数	構成比
10万円未満	7	5	9	4		1	1	2	29	14.1%
10万円～20万円	4	19	11	4	4	23	14	12	91	44.2%
20万円～30万円		5	5	6	13	16	13	6	64	31.1%
30万円～40万円		2		4	8	2	1	3	20	9.7%
40万円～50万円					1			1	2	1.0%
計	11	31	25	18	26	42	29	24	206	100.0%

注 都市計画法区域市町村を除く

図一4（1） 中畑の売買価格別地点数



図一4（2） 中畑の売買価格別地点数（10年前）



### 3. 農用区域内の自作地売買価格の動向

#### (1) 中田・中畑の売買価格の動向【表－7、図－5、図－6】

中田・中畑ともに「横ばい」となった地点が最も多く、構成比は、中田が75.7%、中畑が83.4%を占めている。

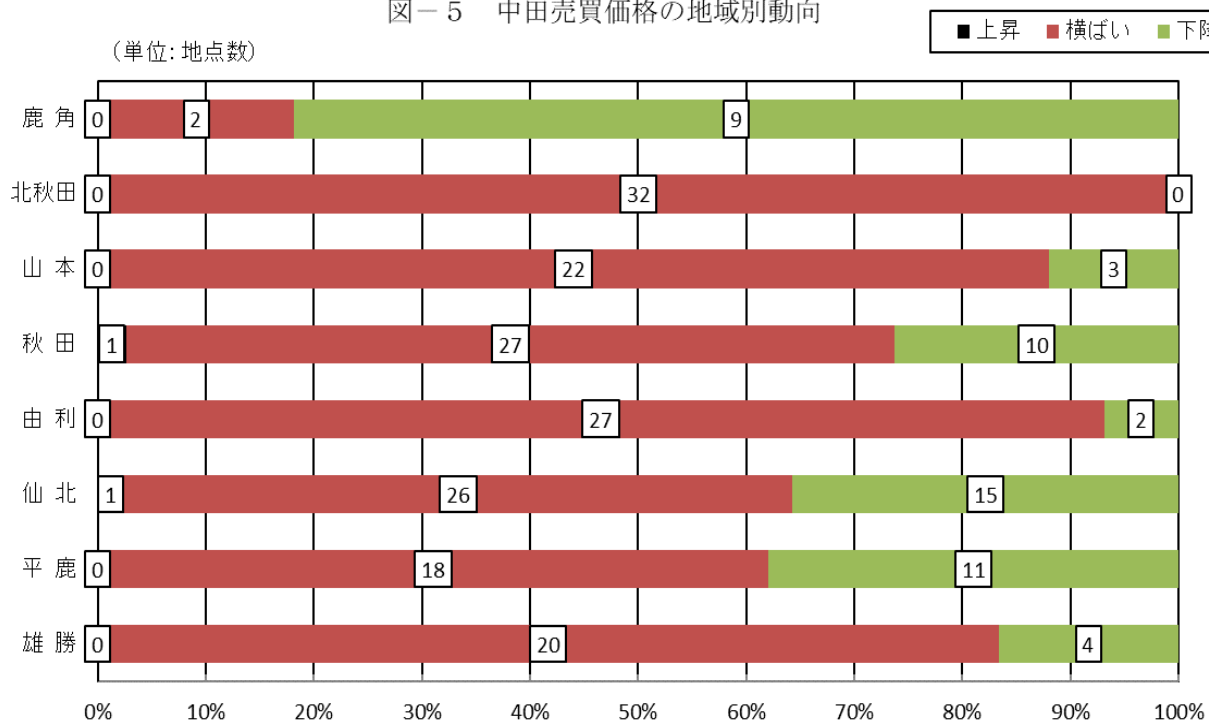
「下降」となった地点は、中田が23.5%、中畑が14.8%を占めている。

表－7 地域別売買価格の動向

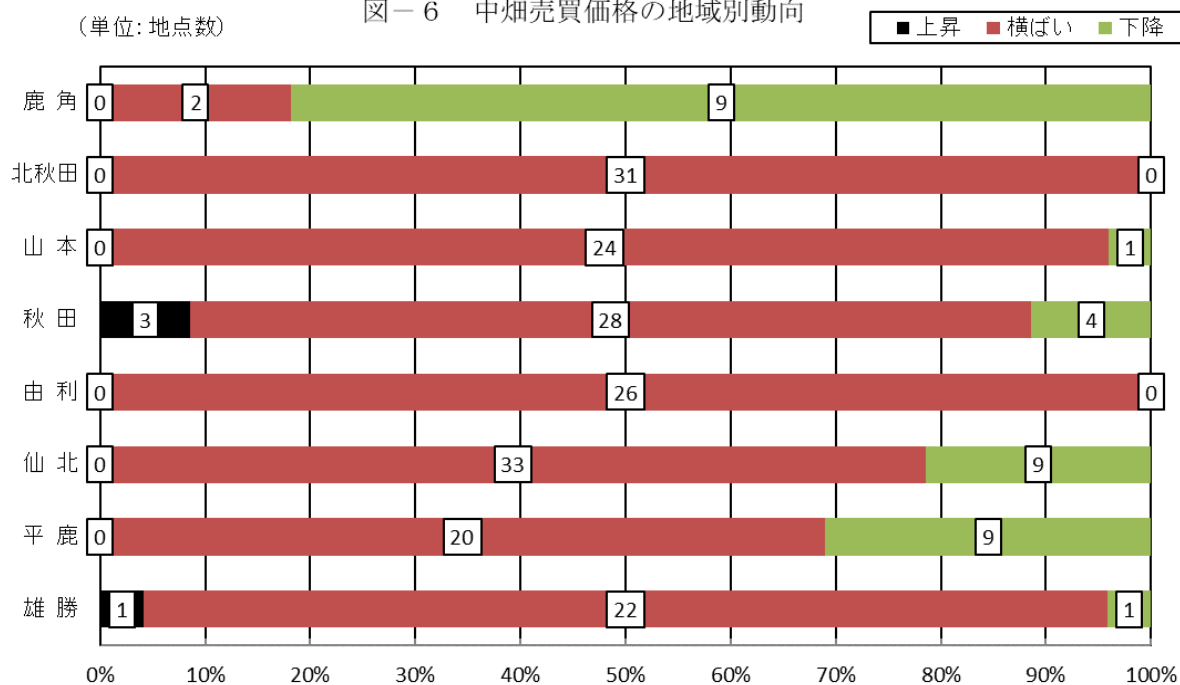
(単位：地点数)

地 域	中 田							
	上 昇		横 ば い		下 降		計	
	4年	5年	4年	5年	4年	5年	4年	5年
鹿 角	0	0	0	2	11	9	11	11
北秋田	0	0	12	32	20	0	32	32
山 本	0	0	21	22	4	3	25	25
秋 田	1	1	31	27	6	10	38	38
由 利	0	0	25	27	4	2	29	29
仙 北	1	1	37	26	4	15	42	42
平 鹿	0	0	10	18	19	11	29	29
雄 勝	3	0	15	20	6	4	24	24
計	5	2	151	174	74	54	230	230
構成比	2.2%	0.9%	65.7%	75.7%	32.2%	23.5%	100.0%	100.0%
地 域	中 畑							
	上 昇		横 ば い		下 降		計	
	4年	5年	4年	5年	4年	5年	4年	5年
鹿 角	0	0	0	2	11	9	11	11
北秋田	0	0	31	31	0	0	31	31
山 本	0	0	22	24	3	1	25	25
秋 田	3	3	29	28	3	4	35	35
由 利	0	0	22	26	4	0	26	26
仙 北	0	0	35	33	7	9	42	42
平 鹿	0	0	15	20	14	9	29	29
雄 勝	2	1	21	22	1	1	24	24
計	5	4	175	186	43	33	223	223
構成比	2.2%	1.8%	78.5%	83.4%	19.3%	14.8%	100.0%	100.0%

図－5 中田売買価格の地域別動向



図－6 中畑売買価格の地域別動向



(2) 中田・中畑の売買価格「横ばい」の理由【表－8、表－9】

中田は、「農地の買い手が少ない・買い控え」が最も多く 60.9%を占めており、次いで「米価などの農産物価格が低い」が 23.0%を占めている。

中畑は、「農地の買い手が少ない・買い控え」が 70.4%、次いで「米価などの農産物価格が低い」が 9.7%を占めている。

表－8 中田の地域別横ばい理由

横ばいの理由	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
									実数	構成比
全体として農業の生産意欲が減退	2						3		5	2.9%
米価などの農産物価格が低い		1	2	10	5	1	14	7	40	23.0%
米の需給調整（生産数量目標）									—	0.0%
兼業化の進行等による労働力不足									—	0.0%
離農などによる過疎化の進行								1	1	0.6%
農業の後継者不足		16							16	9.2%
農地価格が農業収益等で買える限界に達している									—	0.0%
農地の買い手が少ない・買い控え		15	20	17	22	19	1	12	106	60.9%
あっせん事業等により価格水準が保持									—	0.0%
負債整理のための農地売却が多い						1			1	0.6%
土地投機や開発、宅地化、代替地取得等がおさまった									—	0.0%
その他						5			5	2.9%
計	2	32	22	27	27	26	18	20	174	100.0%

表－9 中畑の地域別横ばい理由

横ばいの理由	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
									実数	構成比
全体として農業の生産意欲が減退	2								2	1.1%
米価などの農産物価格が低い		1		5			11	1	18	9.7%
米の需給調整（生産数量目標）									—	0.0%
兼業化の進行等による労働力不足				2					2	1.1%
離農などによる過疎化の進行								1	1	0.5%
農業の後継者不足		15					2		17	9.1%
農地価格が農業収益等で買える限界に達している								6	6	3.2%
農地の買い手が少ない・買い控え		15	24	21	26	24	7	14	131	70.4%
あっせん事業等により価格水準が保持									—	0.0%
負債整理のための農地売却が多い									—	0.0%
土地投機や開発、宅地化、代替地取得等がおさまった									—	0.0%
その他						9			9	4.8%
計	2	31	24	28	26	33	20	22	186	100.0%

(3) 中田・中畑売買価格「下降」の理由【表－10、表－11】

中田は、「農地の買い手が少ない・買い控え」が最も多く 64.8%を占めており、次いで「米価などの農産物価格が低い」が 18.5%を占めている。

中畑は、「農地の買い手が少ない・買い控え」が 84.8%、次いで「米価などの農産物価格が低い」、「農業の後継者不足」がともに 6.1%を占めている。

表－10 中田の地域別下降理由

(単位：地点数)

下降の理由	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
									実数	構成比
全体として農業の生産意欲が減退						1			1	1.9%
米価などの農産物価格が低い					2	8			10	18.5%
米の需給調整（生産数量目標）									—	0.0%
兼業化の進行等による労働力不足									—	0.0%
離農などによる過疎化の進行									—	0.0%
農業の後継者不足							4		4	7.4%
農地価格が農業収益等で買える限界に達している									—	0.0%
農地の買い手が少ない・買い控え	9		3	10		5	7	1	35	64.8%
あっせん事業等により価格水準が保持									—	0.0%
負債整理のための農地売却が多い						1			1	1.9%
土地投機や開発、宅地化、代替地取得等がおさまった									—	0.0%
その他								3	3	5.6%
計	9	0	3	10	2	15	11	4	54	100.0%

表－11 中畑の地域別下降理由

(単位：地点数)

下降の理由	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
									実数	比率
全体として農業の生産意欲が減退									—	0.0%
米価などの農産物価格が低い						2			2	6.1%
米の需給調整（生産数量目標）									—	0.0%
兼業化の進行等による労働力不足									—	0.0%
離農などによる過疎化の進行									—	0.0%
農業の後継者不足							2		2	6.1%
農地価格が農業収益等で買える限界に達している									—	0.0%
農地の買い手が少ない・買い控え	9		1	4		7	7		28	84.8%
あっせん事業等により価格水準が保持									—	0.0%
負債整理のための農地売却が多い									—	0.0%
土地投機や開発、宅地化、代替地取得等がおさまった									—	0.0%
その他								1	1	3.0%
計	9	0	1	4	0	9	9	1	33	100.0%

#### 4. 転用目的の自作地売買価格の動向【表－12、表－13、参考－2】

都市農業地域では、市街化区域、市街化調整区域ともに、価格変動はなく、純農業地域では、中畑の住宅用地は価格が上昇しているが、その他の価格は全て下落している。

表－12 都市農業地域の転用目的売買価格

(単位：円/3.3㎡)

区分	市街化区域							
	中田				中畑			
	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
令和4年	22,520				36,500			
令和5年	<b>22,520</b>				<b>36,500</b>			
対前年比	100.0%	—	—	—	100.0%	—	—	—
区分	市街化調整区域							
	中田				中畑			
	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
令和4年	10,950				15,000			
令和5年	<b>10,950</b>				<b>15,000</b>			
対前年比	100.0%	—	—	—	100.0%	—	—	—

表－13 純農業地域の転用目的売買価格

(単位：円/3.3㎡)

地域	中田				中畑			
	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
鹿角	31,109	12,533			24,915			
北秋田	14,164	9,757			14,638	6,358		
山本	11,800	12,723			12,550	16,508		
秋田	44,000				34,000			
由利	10,778	2,617			41,713	14,040		
仙北	22,462	18,216			18,000	13,615		
平鹿	23,333	30,000			21,333	23,000		
雄勝	17,119	14,125			11,087	9,375		
平均(5年)	<b>21,846</b>	<b>14,282</b>	—	—	<b>22,280</b>	<b>13,816</b>	—	—
平均(4年)	23,160	19,074	6,600	21,410	14,951	16,946	—	—
対前年比	94.3%	74.9%	—	—	149.0%	81.5%	—	—

参考－2 農業地域類型別転用目的売買価格

(単位：円/3.3㎡)

農業地域類型	中田				中畑			
	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
都市的地域	31,508	37,204			33,515	42,000		
平地農業地域	17,587	14,592			15,134	10,964		
中間農業地域	14,497	8,199			17,384	9,866		
山間農業地域	8,291	6,282			8,023	8,285		
平均(5年)	17,971	16,569	—	—	18,514	17,779	—	—
平均(4年)	19,853	16,567	6,600	21,410	17,543	18,007	—	—

注) 都市計画法区域市町村を除く



